

# 令和4年度 子育て家庭支援セミナー 開催要項

## ～ファミリーソーシャルワークをいかに実践・展開していくか～

### 1 目 的

令和4年6月に改正児童福祉法や、子ども基本法、こども家庭庁設置法が成立するなど、現在子どもに関する取り組みを日本の社会の中心におき、全ての子どもが福祉や地域から切り離されず育つ事の出来る体制の強化が図られている。

しかし、令和3年度に県内児童相談所が対応した虐待対応件数は、令和2年度より減少したものの約900件と依然として高い水準にあり、まだまだ地域には多くの支援が必要な児童や世帯が生活していることが推測される。

その中で、保育所や地域子育て支援センター等では、日々子どもへの保育や保護者への関わりの中で、虐待の疑い、ひとり親家庭や外国人家庭など、子育ての課題を抱える家庭全体に対し、課題を早期発見し、適切に対応することが求められていることから、家族関係を支援するファミリーソーシャルワークの視点・手法の基本を学ぶものとする。

### 2 主 催

社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ

### 3 対象・定員

県内認可保育所・認定こども園・認可外保育所・地域子育て支援センター等において園長、所長、または中堅やそれに準ずるリーダー職員

県・市町村子ども行政担当課、市町村社会福祉協議会、児童相談所 等 約40名

### 4 日 時

令和5年3月10日（金） 午後1時30分から午後4時30分

### 5 会 場

富山県民会館 401号室 富山市新総曲輪4-18 TEL:076-432-3111

### 6 内 容（※集合研修を想定）

#### ① 講義

「ファミリーソーシャルワーク ～ 子どもと家庭のニーズに応えるために～」(仮)

※ キーワード「ソーシャルワーク」「ニーズ把握」「アセスメント」「連携・協働」

※ 子ども家庭庁、子ども家庭福祉ソーシャルワーカー等 現状の子どもを取り巻く国施策動向、国際的な動向

#### ② 演習 ※ 模擬事例を基に、該当世帯が抱える「生活課題」を考える

#### ③ 参加者からの事例に関する質疑応答

※ 参加者から、事前に現場で対応している(対応に苦慮している)ケースに関して報告をして頂き、講師と共に方策を考える。意見交換やコメント。

※ 1事例程度を想定（事前受付）

### 7 講 師

日本社会事業大学 社会福祉学部 准教授 有村 大士 氏

## 8 受講料

4,000円

## 9 申込等

別紙申込書に必要事項を記載の上、令和5年2月16日（木）までにFAXにてお申込みください。

「6 内容③の『参加者からの事例に関する質疑応答』の希望について、申込書の該当欄の 有・無 のいずれかに○をご記入ください。

該当者には、後日別途ご連絡いたします。

## 10 参加決定

令和5年2月28日（火）までに、参加決定通知書を送付します。

## 11 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大状況により、内容の変更・中止、会場の変更等となる場合があります。その場合は、本会ホームページに掲載するとともに、受講決定者に連絡します。
- (2) 研修会場では、マスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底など、感染対策をお願いいたします。
- (3) 研修会場では換気を行うため、体温調節可能な衣類をご準備ください。
- (4) 発熱や咳、風邪症状がある方は参加をご遠慮ください。
- (5) 参加者からの事例に関する質疑応答については、研修時間の関係上、希望者全員のケースについて、対応できない場合もあります。

## 12 問合せ先

富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ教務課（越村、小林）  
〒930-0094 富山県富山市安住町5-2-1 富山県総合福祉会館2階  
TEL：076-432-6513 FAX：076-432-6516  
Eメール:koshimura@wel.pref.toyama.jp